

平成30年度

家庭学習の手引き

～進んで学ぶ子どもを育てるために～



家庭学習で「より確かな学力」を育てましょう

小学校の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で子どもたちの学力向上に取り組んでいくことはもちろんですが、学校と家庭が連携することで、学習内容の定着がより確かなものになります。自分に対する自信や意欲が深まり、落ち着きも増してきます。この「家庭学習の手引き」をお子様と一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用ください。

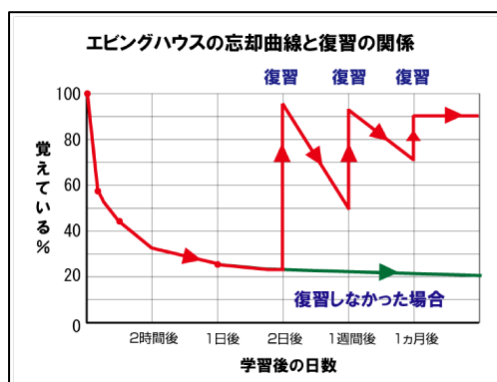
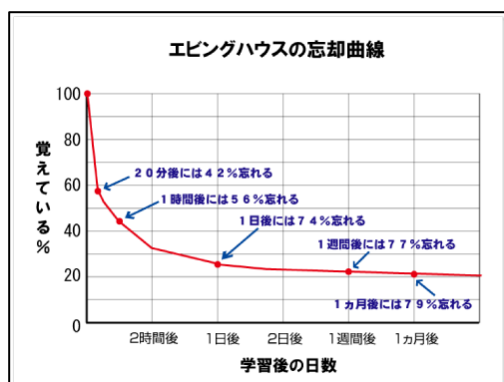
さいたま市立谷田小学校

1 家庭学習の意義

家庭学習によって、次のような教育効果が期待できます。

(1) 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に、漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。宿題を必ずやり、時間があったら積極的に自主学習を行いましょう。学校で「分かった」ことが、家庭での反復練習によって「できる」という自信に変わります。



復習しないと、
どんどん忘れて
いくね。



(2) 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになります。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちからどんどん鍛えていきましょう。

(3) 学ぶ習慣が身に付く

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年から毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

(4) がまん強さ、根気、集中力が身に付く

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかりと確保しましょう。

(5) 家族の触れ合いが増える

「本を読んでいる時、聞いてあげる」、「丸付けをしてあげる」、「勉強が分からない時、教えたり、一緒に調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子どもに親がかかわることにより、コミュニケーションが図れます。家族の触れ合いの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

2 家庭学習のポイント

家庭学習のやり方次第で効果がぐんと上がります。ポイントを6点挙げますので、実践してください。

(1) 決まった時間に毎日コツコツと行う

家庭学習は、毎日続けることが大切です。習い事やお出かけ等で予定が組みにくい日があります。そんな時は、「先に済ませる」、「テレビやゲームの時間を少なくする」などの工夫ができます。お子さんの自主性だけに任せず、よき相談相手、助言者となってください。

(2) 集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで必ず成果が上がるとは言えません。短時間でも集中して勉強することが長続きのコツです。表の学習時間を目安にして、集中して学習に取り組むことを心がけてください。

学習時間の目安

1・2年生	3・4年生	5・6年生
20分～30分	40分～50分	60分以上



(3) テレビを消す

「テレビを見ながら」、「音楽を聞きながら」、「おやつを食べながら」などの「ながら学習」は効果が上がりません。また、見たいテレビの音が聞こえるような環境も、お子さんの集中力を奪います。静かに学習できる環境を作ってください。

(4) 整理整頓された机で、よい姿勢で学習する

整理整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなど、気が散るものが近くにあっては、学習に集中できません。落ち着いて学習できる環境作りを心がけてください。

「がんばったね」「続けることで力が付いたね」「目標が達成できたね」「計画通りできたね」
「明日もがんばれるといいね」「言われなくても勉強できてすごいよ」など

(5) 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

親や教師が子どものがんばりを認め、ほめたり、励ましたりすることにより自信が付き、進んで学習しようという意欲が高まります。強制したり、まちがいを叱ったりすることは逆効果です。

(6) 学力アップは、規則正しい生活から

「早寝・早起き・朝ごはん」は、生活リズムの原則です。生活リズムを整えることが学力向上につながります。学校でも、家庭でも生き生きと学習に取り組めるように、規則正しい生活を送らせてください。



家庭学習の手引き

さいたま市立谷田小学校



ホップ (準備)

1 テレビを消して

2 机の上を整理整頓して

3 連絡帳を確認して

4 時間を決めて

5 学習内容を決めて

時間の目安

1・2年生 20分~30分

3・4年生 40分~50分

5・6年生 60分以上



ステップ (復習) ~今日学習した内容を確実に身に付けよう~

1 宿題をすませる。

2 教科書、ノート、プリントなどを見直す。

3 例題や練習問題を解く。

いつでも活用
できる力に



ジャンプ (予習) ~明日学習する内容に見通しをもとう~

1 明日学習する教科書のページを読む。

2 大切なところや分からないところに線や印を付ける。

3 分からない言葉や単語などを辞書で調べる。

4 自主学習を行う。

いつでも疑問
をもつ力を



ふり返り

1 集中して学習できたかな？

2 決めた時間や学習内容を達成できたかな？

- ◇はじめに、しゅくだいをしましょう。
- ◇しゅくだいがおわり、じかんがあったら、じしゅがくしゅうをしましょう。

【じしゅがくしゅう チャレンジメニュー】

こくご

- ・ひらがな、かたかな、かんじをただしくかけるように、ノートにれんしゅうしましょう。
- ・ならったかんじや、かたかなをつかった、ことばをあつめましょう。
- ・ならったかんじや、かたかなをつかって、ぶんをつくりましょう。
- ・いろいろな ほんを よみましょう。
- ・ほんをよんで、おもったことを ぶんにかきましょう。
- ・につき(こころにのこったできごと)を かきましょう。

さんすう

- ・けいさんカード(たしざん・ひきざん・九九)を、くりかえし れんしゅうしましょう。
- ・けいさんどりるや きょうかしょのもんだいを、ただしくできるように れんしゅうしましょう。
- ・ながさを くらべたり、はかったりしましょう。

- ◇じしゅがくしゅうノートをいえのひとにみせて、まるつけをしてもらいましょう。
- ◇ふでばこのえんぴつを、けずっておきましょう。
- ◇じかんわりをたしかめて、あしたのよういをしましょう。
- ◇つくえのうえの、あとかたづけをしましょう。

☆学習内容（3・4年生）☆

- ◇はじめに、宿題をしましょう。
- ◇宿題が終わったら、自主学習をしましょう。

【自主学習チャレンジメニュー】

国語

- ・習った漢字を使ってみじかい文を作ってみましょう。
- ・分からない言葉をじ書で調べましょう。
- ・言葉やリズムを工夫して、詩やはい句を作りましょう。
- ・四字じゅく語やことわざの意味を調べましょう。
- ・本や新聞記事のしょうかいや感そうを書きましょう。

算数

- ・計算ドリルや教科書の問題をくり返しといてみましょう。
- ・コンパスやじょうぎを使って、きれいな図形をかいてみましょう。
- ・自分で問題を作ってといてみましょう。
- ・いろいろな物の量をはかってみましょう。（長さ・重さ・広さ・かさ）

社会

- ・埼玉県やさいたま市のことをまとめましょう。
- ・地図でいろいろな場所をさがしましょう。
- ・学習したことを新聞にまとめてみましょう。
- ・みぢかなお年よりに、むかしのことを聞いてみましょう。

理科

- ・家の回りの植物やこん虫などのかんさつをして記ろくしましょう。
- ・学校でやった実けんやかんさつをノートにまとめましょう。
- ・親子で月や星のかんさつをしましょう。

- ◇自主学習ノートを家の人に見せて、丸付けをしてもらいましょう。
- ◇筆箱のえんぴつを、けずっておきましょう。
- ◇時間わりをたしかめて、明日の用意をしましょう。
- ◇つくえの上の、後かたづけをしましょう。

☆学習内容（5・6年生）☆

- ◇はじめに、宿題をしましょう。
- ◇宿題が終わったら、自主学習をしましょう。

【自主学習チャレンジメニュー】

国語

- ・今まで習った漢字をくり返し練習しましょう。
- ・新しく習った漢字を使って、じゅく語や文を作りましょう。
- ・次に習う物語や説明文の言葉の意味を調べてみましょう。
- ・新聞を読んだり、ニュースを見たりして、興味のあることについて、自分の考えを書いてみましょう。

算数

- ・計算ドリルや教科書の問題をくり返し解いてみましょう。
- ・学校で解いた問題をもう一度解いてみましょう。
- ・テストでまちがえた問題や苦手な問題を、もう一度解いてみましょう。
- ・難しい問題にちょう戦ってみましょう。

社会

- ・教科書を読んで大切なところに赤線を引いたり、ノートに書き写したりしましょう。
- ・意味の分からない言葉を辞典で調べてみましょう。
- ・図、グラフ、写真、表などの資料を見て、分かったことをまとめましょう。

理科

- ・教科書を読んで大切なところに赤線を引いたり、ノートに書き写したりしましょう。
- ・意味の分からない言葉を辞典で調べましょう。
- ・実験や観察の仕方、結果、分かったことを教科書やノートを見てまとめましょう。

- ◇自主学習ノートを家の人に見せて、丸付けをしてもらいましょう。
- ◇筆箱のえんぴつを、けずっておきましょう。
- ◇時間わりをたしかめて、明日の用意をしましょう。
- ◇つくえの上の、後かたづけをしましょう。